

南部町は
魅力がいっぱい!



なんぷちよう 青森県 南部町は

どんなところ?

町章はこちら!



ジュノハート



ゼネラル・レクラーク



南部町の花「ぼたん」



冬の伝統行事「南部地方えんぶり」

山と川、田園風景の広がる豊かな自然に恵まれた町

南部町は、農業が盛んで、町の中央を流れる馬淵川の沿岸部では、帯状に肥よくな平野が広がり、水稻や野菜の栽培が行われています。
町の南西部には、標高615mの名久井岳がそびえ、丘陵地帯では果樹栽培が盛んで、多種多様な果物が年間を通して収穫される県内有数のフルーツの産地です。



青森県

南部町

コミュニケーションは“鍋”を囲んで

毎月22日は「鍋の日」。家族や友人などと鍋料理を囲み活発なコミュニケーションを図るため、南部町笑顔あふれる明るいコミュニケーション推進条例(通称:鍋条例)を制定しています。



鍋条例推進キャラクター
「なべまる」

歴史

南部藩発祥の地として古くから発展してきた歴史の町。聖寿寺館跡発掘調査では、全国的に珍しい出土品が多数発掘されています。
名久井岳の名刹「白華山法光寺」は、700余年前に鎌倉幕府の執権北条時頼公が開基したと伝えられています。



特産品

大粒でハート型が特徴的なさくらんぼ「ジュノハート」や、全国一の生産量を誇る西洋梨「ゼネラル・レクラーク」、苫米地地区原産のにんにく「ふくちホワイト六片種」などがあります。

四季のまつり

県南地方で最初の夏祭り「ジャックドまつり(7月)」や、冬の伝統行事「南部地方えんぶり(2月)」など1年を通して四季を彩るまつりを楽しむことができます。



町の中央を流れる馬淵川と名久井岳